

第15期のご報告

株主通信

2010年3月1日▶2011年2月28日

顧客支持**NO.1**の
都市型スーパーセンターへの挑戦



株式会社スーパーバリュー

<http://www.supervalue.jp/>

証券コード:3094



経営理念

顧客支持No.1店舗の 拡大と維持

モットー

- お客様第一主義の徹底
- よい商品をより安く
- 顧客満足度の高いサービスの提供

企業理念

- 生活に豊かさや利便性をもたらす店舗展開による地域社会への貢献
- コンプライアンスの徹底およびCSR(企業の社会的責任)への取り組み
- ステークホルダー(顧客・株主・取引先・従業員)への利益還元

株主の皆様へ

To Our Shareholder



スーパーバリューは、
お客様とのより良い
信頼関係をこれからも
築き続けてまいります。

代表取締役執行役員社長

岸本 七朗

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月に発生しました東日本大震災により被災されました株主様、またその関係者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私ども株式会社スーパーバリューは、先般の大震災における被害は軽微なものでございましたが、今後予想される大変厳しい経済環境におきましても、経営理念の実現に向け、“お客様第一主義”、“よい商品をより安く”をさらに徹底した店舗運営に注力し、一步一步着実に成長を続けてまいり所存でございます。

当期(2011年2月期)におきましては、志茂店と等々力店の新店2店舗を出店し、店舗のドミナント化を進めてまいりました。また、生鮮売場の強化を目的とした店舗改装を3店舗で実施し、既存店の強化にも取り組んでまいりました。

本年度につきましては、2店舗の新規出店計画のほか、年間1〜2店舗の居抜き出店を目標に物件情報の収集に努め、店舗のドミナント化を推進してまいります。営業面では、これまで以上に安全・安心な商品をより安くご提供しつつ、徹底した経費節減に取り組み、利益の最大化を目指して努力してまいります。

当社は、地域の皆様と共生する企業として、いつでも“スーパーバリューに行けば何でも揃う”というお客様のご期待にお応えし、信頼いただける店舗づくりを進め、ステークホルダーの皆様のご期待に添えるよう企業価値の最大化に邁進してまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2011年5月

社長メッセージ

Message from the President

■スーパーバリューの特長と強み



当社の最大の特長であり、強みでもあるのが、SM（食品スーパー）業態とHC（ホームセンター）業態を独自のノウハウで複合させた店舗展開にあります。このSMとHCの複合化により、当社の店舗では、衣料品を除く日常生活に必要なほぼ全ての商品をワンストップで購入することが可能となっており、さらに、地域一番の低価格販売を徹底することで、お客様から絶大なご支持をいただいております。

これは、次のような取り組みによって、実現されております。

まず、「店舗への大幅な権限委譲」により、各店舗がその地域ニーズに合わせて、売価や品揃えを決定できる体制としております。お客様の声や地域イベント、天候などから判断し、瞬時に価格や品揃え、売場づくりに反映させることで、競合店に対し先手をとって対応を進めることができます。この体制のもと、「よい商品をより安く」を実現するため、各店舗では売場ごとに競合店を設定し、毎日競合店調査を実施することで、安さにおいて常に「地域一番店」のポジションを確保するよう努めております。また、年齢・家族構成・世帯年収・ライフスタイルなど様々なお客様のニーズにお応えできるよう、メーカーの違いだけでなく、品質が「ちょっと良いもの」や同じ商品でもサイズ・色を豊富に用意するなど多様な基準で「幅広い品揃え」を行っております。

これらの取り組みは、この2年ほど出店を進めてまいりました食品スーパー単独の店舗でも活かされ、各店舗とも非常に大きな集客力を持ち、高い生産性を実現しております。

初めてご来店いただくと誰もが驚かれる当社の価格・品質、そして店舗の賑わいは、一度ご来店いただければ必ずご実感いただけるものと自負しております。



■成長戦略

ここ数年の金融不安に加え、東日本大震災の影響により、今後大変厳しい経営環境が続くものと予想されます。このような状況において、当社では、常に競合店を上回る価格競争力を維持していくため、売価を競合店よりも低く設定し、集客と売上の拡大による「売上総利益の最大化」とさらに徹底した経費節減による「ローコスト経営」をバランスよく組み合わせた戦略を推進してまいります。

出店戦略につきましては、埼玉県・東京都・千葉県の1都2県において、ドミナント出店（高密度集中出店）に継続して取り組んでまいります。今後も、神奈川県を含む1都3県を中心とした首都圏エリアの「国道16号線」内側の市街地・人口密集地をメインターゲットに、収益性や効率性、地域性を重視しながら、店舗のドミナント化を構築してまいります。2012年2月期は、都内にSM店とSM・HC複合店の2店舗の新規出店を予定しておりますが、これに加え1～2店舗の居抜き出店を目標に物件情報の収集に努めてまいります。また、最近では、SM店の出店が続いておりましたが、今後は、SM・HC複合店を年間1店舗出店し、SM店とあわせて年間3～4店舗の出店を目標に取り組んでまいります。

店舗運営面では、引き続き業務効率の向上とローコストオペレーションの徹底を推進し、今後の多店舗化を想定した経営体制の強化に向けた取り組みを進めてまいります。さらに、従業員のスキル向上・作業効率改善を目的とした教育・訓練システムの構築や新卒定期採用の拡大なども継続して取り組んでまいります。

これらの戦略を推し進めていくことで、当社は経営理念である「顧客支持No.1店舗の拡大と維持」を追求し、より強い競争力を持ったビジネススタイルを構築してまいります。

当社では、「小売業はお客様の満足を勝ち取るための変化対応業である」ことを認識し、常にその時代の流れを読み取り、臨機応変に対応できるよう努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、当社の経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。



トピックス

Topics

■新店『SuperValue等々力店』がオープンしました

2010年12月9日(木)、東京都世田谷区に『SuperValue等々力店』がオープンいたしました。『SuperValue 等々力店』は、売場面積が210坪の小型食品スーパーです。東急大井町線「等々力駅」から徒歩1分のとても人通りの多い道路に面する、当社では初めての駅前立地の店舗です。小さな売場ながらも多くの商品をご提供できるよう、下の写真のように多段陳列台を利用するなど、様々な工夫を凝らした商品陳列を行っております。また、“オール電化”のほか、一部照明にLEDを導入した環境配慮型の店舗となっております。



〈青果・商品陳列の工夫〉

好天に恵まれたオープン日には、開店前に百名近い行列ができた後も、終日途切れることなくお客様が来店され、周辺の皆様からの期待の高さを実感いたしました。

近隣には多数の競合店があり、厳しい競争が予想されますが、「地域密着」を徹底し、新鮮かつ品質の高い商品をより安くご提供するほか、ワンランク上の“ちょっと良い商品”もバランス良く品揃えすることで、多様な嗜好を満ちし、“地域一番店”のポジションを目指してまいります。

なお、『SuperValue 等々力店』の开店により、当期末における当社の店舗展開は、埼玉県10店、東京都5店、千葉県1店の計16店となりました。



〈外観〉

■物流センターの統合による効率化を進めました

2010年4月、これまでSMとHCで別々に運営を行ってまいりました物流センターを統合し、新物流センターの稼働を開始いたしました。新物流センターは、千葉県野田市に設置しており、今回の統合によって、配送の合理化など一層の業務効率化を実現しております。

今後も、仕入原価の引き下げや値下げ・廃棄ロスの削減など仕入段階での業務効率化のほか、節電などの徹底した経費節減、生産性の向上により、利益の最大化に向けた取り組みを進めてまいります。



3店舗で改装を行いました

当期におきましては、既存店の強化にも力を入れ、2010年10月に上尾愛宕店と草加店、12月に東所沢店の改装を行いました。

いずれも生鮮売場を中心に改装を実施し、とくに鮮魚対面コーナーの充実を図りました。上尾愛宕店の鮮魚コーナーでは、生魚や活カニ、活貝など、以前の3～4倍となる約30種類の魚種をそろえ、迫力ある売場となっております。また、東所沢店では、鮮魚対面ブースを新たに設置し、お客様のご要望に応じてその場で調理・加工する当社の基本スタイルをご提供できるようになりました。

2012年2月期以降も生鮮売場を中心とした改装を順次実施し、売上の拡大と利益率の改善を目指した既存店強化を行ってまいります。



〈上尾愛宕店 鮮魚コーナー〉

宅配サービス「はい!お届け便」好評実施中です!!

2010年9月より荒川一丁目店で開始しました宅配サービス「はい!お届け便」は、お客様が店舗で買い物された商品を即日3時間以内にお届けするサービスです。生鮮食品・冷凍食品も利用可能なおうえ、商品が何個でも1回210円(税込)で宅配できるため、大変ご好評いただいております。

2010年12月に開店しました等々力店では、月間300件の利用実績があり、お客様からは『安いから買い過ぎても、宅配してもらえるから助かる』といったお声を多数頂戴しております。

2011年5月現在では、上記2店舗に志茂店を加えた都内の小型食品スーパー3店舗で実施中です。



今後も、徒歩や自転車での来店客が多い、都内の小型食品スーパーを中心にサービスの拡大を図ってまいります。



〈東所沢店 鮮魚対面ブース〉

「東日本大震災」 義援金募金活動を行いました

当社では、「東日本大震災」の被災者支援と被災地の一日も早い復興のため、義援金募金活動を実施いたしました。

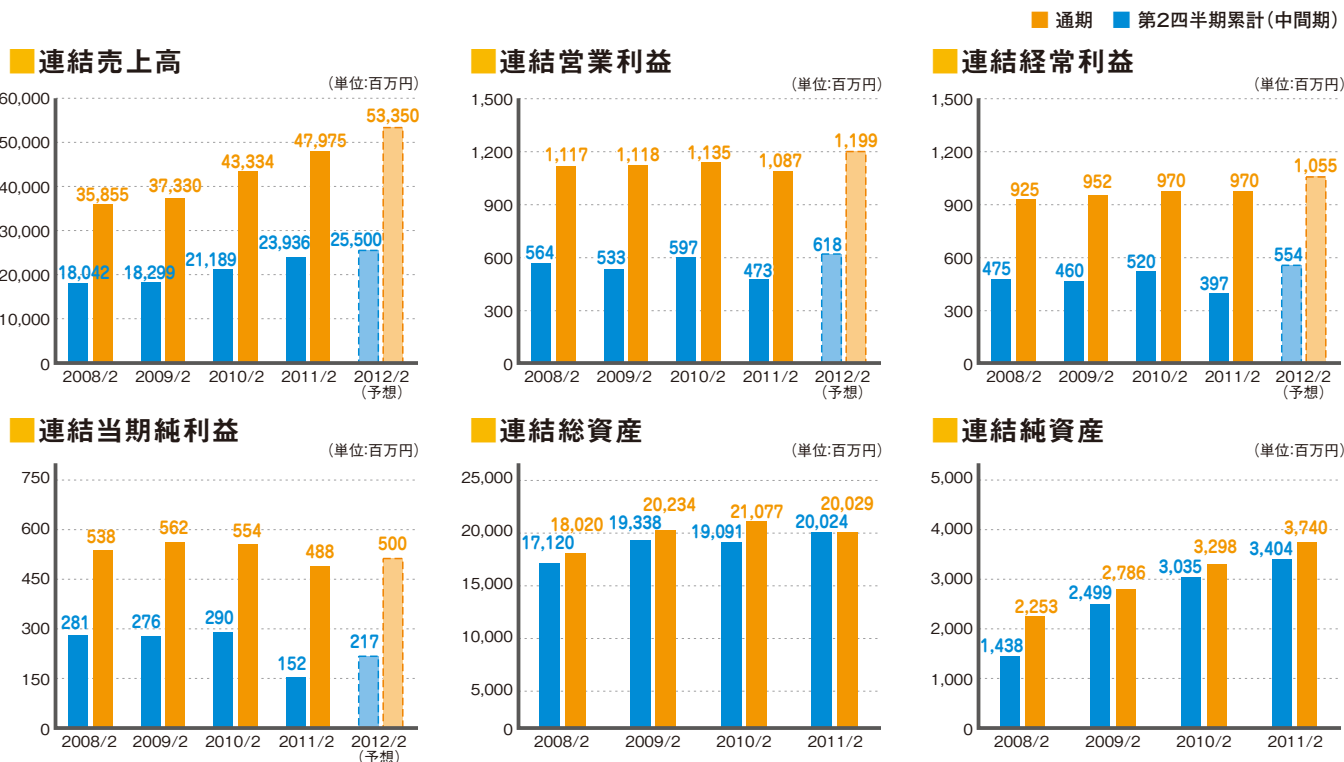
お客様だけでなく従業員からも多数の協力をいただき、2011年4月30日現在では、総額905,884円の募金がありました。

お預かりした募金は、日本赤十字社に寄託し、被災地支援に役立てていただきます。



ハイライト情報(連結)

Financial Highlights (Consolidated)



(単位:百万円)

	連 結				
	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2
売上高	34,832	35,855	37,330	43,334	47,975
売上総利益	7,039	7,339	7,804	8,801	9,743
営業利益	891	1,117	1,118	1,135	1,087
経常利益	727	925	952	970	970
当期純利益	362	538	562	554	488
総資産	17,466	18,020	20,234	21,077	20,029
純資産	1,172	2,253	2,786	3,298	3,740
1株当たり当期純利益(円)	201.42	296.74	268.08	264.09	232.42
1株当たり純資産(円)	647.72	1,067.08	1,320.07	1,564.09	1,774.58
期末発行済株式数(千株)	1,800	2,100	2,100	2,100	2,100

セグメント情報(連結)

Segment Information (Consolidated)

営業概況

当連結会計年度におきましては、企業収益や個人消費は回復傾向となりましたが、雇用情勢の改善には至らず、また欧州財政の信用不安や急激な円高の進行、デフレの長期化などもあり、依然として不安定な経済状況が続きました。

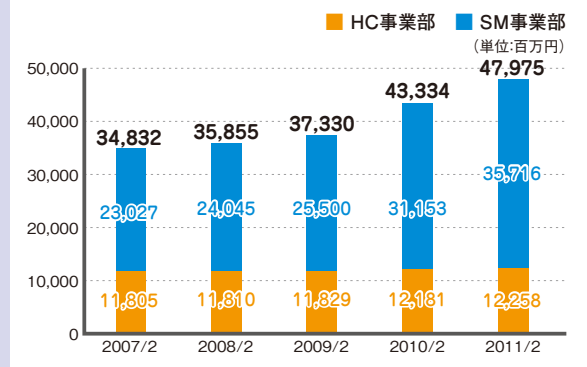
小売業界におきましては、企業間の低価格競争が引き続き激化する中、春先の低温・降雨や夏場の記録的な猛暑など天候不順の影響も受け、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループでは、2010年2月より新たに導入した「現金ポイントカード」制度を活用した優良顧客の囲い込みに取り組み、当連結会計年度末には約26万名の会員を獲得することができました。さらに、東京都内の小型3店舗(荒川一丁目店、志茂店、等々力店)において宅配サービス「はい!お届け便」の導入、全店舗・全フロアでのクレジットカード利用拡大など、お客様のさらなる利便性向上に向けた取り組みを進めてまいりました。これらの結果、当連結会計年度における既存店の売上高は前年同期比1.5%増と前年を上回ることができました。また、2010年4月からのSM及びHC事業部の物流センター一本化、資材センター導入による配送の合理化など、仕入段階での業務効率化により、低価格競争の激化による売上総利益率の低下やポイント値引き分を吸収し、売上総利益率は前連結会計年度と同等の20.3%を確保することができました。

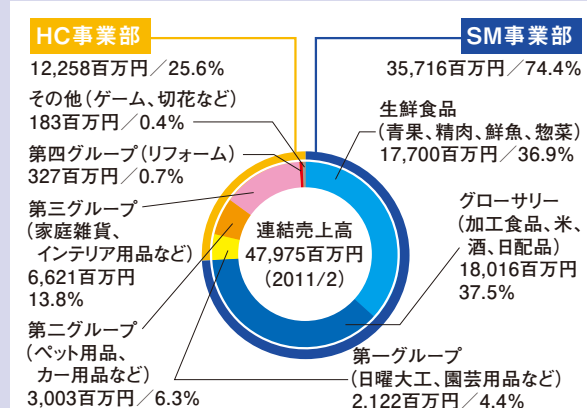
経費面では、今後の新店要員の早期確保並びに本格的な新卒採用活動の開始に伴う人件費の増加、前連結会計年度からの新規出店に伴う地代家賃等の設備費の増加など、持続的な成長のための投資により、販売費及び一般管理費は前年同期比12.4%増と大幅に増加いたしました。

以上のような営業活動の結果、売上高は479億75百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は10億87百万円(前年同期比4.3%減)、経常利益は9億70百万円(前年同期比0.0%増)となりました。なお、退職給付債務及び費用の算定方法変更に伴う期首差額1億22百万円と固定資産除却損8百万円をそれぞれ特別損失として計上したことにより、当期純利益は4億88百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

事業部別売上高の推移



品目別売上高構成比



当連結会計年度におきましては、SM事業部では、“ちょっと良い商品”の導入や生鮮売場の強化、HC事業部では、リフォーム部門の強化や家電エコポイント制度に伴う需要増への対応などに注力してまいりました。

これらの結果、新店等の寄与もあり、SM事業部の売上高は357億16百万円(前年同期比14.6%増)、HC事業部の売上高は122億58百万円(前年同期比0.6%増)となり、両事業部門ともに前期を上回ることができました。

連結財務諸表

Financial Statements (Consolidated)

(単位：百万円)				(単位：百万円)			
■ 連結貸借対照表	前々期末 2009年2月28日	前期末 2010年2月28日	当期末 2011年2月28日		前々期末 2009年2月28日	前期末 2010年2月28日	当期末 2011年2月28日
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	5,175	5,492	4,308	流動負債	9,144	9,719	7,660
現金及び預金	2,296	2,539	1,240	支払手形及び買掛金	4,740	5,188	3,444
現金及び預金(SPC)	423	423	423	短期借入金	1,050	1,550	1,450
売掛金	168	147	137	一年内返済予定の長期借入金	1,892	1,418	1,253
商品及び製品	1,840	2,018	2,072	一年内返済予定の長期借入金(SPC)	250	250	250
原材料及び貯蔵品	4	5	8	リース債務	-	61	97
繰延税金資産	95	104	112	未払法人税等	218	195	210
その他	346	251	313	役員賞与引当金	10	10	8
その他(SPC)	0	0	0	賞与引当金	155	166	190
固定資産	15,007	15,559	15,721	その他	812	865	742
有形固定資産	13,116	13,646	13,506	その他(SPC)	14	13	12
建物及び構築物	2,302	2,594	2,397	固定負債	8,303	8,058	8,628
建物及び構築物(SPC)	3,093	2,962	2,830	長期借入金	2,662	2,453	3,088
車両運搬具及び工具器具備品	22	33	36	長期借入金(SPC)	5,325	5,075	4,825
土地	4,834	4,834	5,043	リース債務	-	221	293
土地(SPC)	2,862	2,862	2,862	退職給付引当金	24	28	144
リース資産	-	259	336	その他	291	280	277
建設仮勘定	0	100	-	負債合計	17,448	17,778	16,288
無形固定資産	29	125	141	(純資産の部)			
リース資産	-	6	31	株主資本	2,772	3,284	3,726
その他	25	114	105	資本金	367	367	367
その他の無形固定資産(SPC)	4	3	3	資本剰余金	277	277	277
投資その他の資産	1,861	1,787	2,073	利益剰余金	2,127	2,639	3,081
投資有価証券	1	1	1	自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
繰延税金資産	37	13	58	評価・換算差額等	△ 0	△ 0	△ 0
差入保証金	1,749	1,722	1,926	その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 0	△ 0
その他	72	50	86	新株予約権	14	14	14
繰延資産(SPC)	51	25	-	純資産合計	2,786	3,298	3,740
資産合計	20,234	21,077	20,029	負債純資産合計	20,234	21,077	20,029

財政状態

資産／当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末が金融機関の休日であったため、仕入債務の支払いが当期に繰り越されたことによる現金及び預金の12億99百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ10億47百万円減少し、200億29百万円となりました。

有利子負債／当連結会計年度末の有利子負債(SPCを含む)は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加し、108億67百万円となりました。

※有利子負債には、リース債務を含んでおりません。

純資産／当連結会計年度末の純資産は、連結当期純利益4億88百万円の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億42百万円増加し、37億40百万円となりました。

注) 連結貸借対照表に掲載された「SPC」とは、「ValuePlaza上尾愛宕店」の賃貸業務を営む当社連結子会社(有)上尾企画を匿名組合(SPC)として設立していることから、同社分を別立てに掲載しているものです。



■ 連結損益計算書	(単位：百万円)		
	前々期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	前期 2009年3月1日～ 2010年2月28日	当期 2010年3月1日～ 2011年2月28日
売上高	37,330	43,334	47,975
売上原価	29,525	34,533	38,231
売上総利益	7,804	8,801	9,743
営業収入	333	302	301
営業総利益	8,138	9,103	10,045
販売費及び一般管理費	7,019	7,968	8,958
営業利益	1,118	1,135	1,087
営業外収益	106	105	146
営業外費用	271	270	263
経常利益	952	970	970
特別利益	7	4	1
特別損失	-	35	130
税金等調整前当期純利益	960	939	841
法人税、住民税及び事業税	376	371	406
法人税等調整額	21	13	△ 53
当期純利益	562	554	488

■ 連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)		
	前々期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	前期 2009年3月1日～ 2010年2月28日	当期 2010年3月1日～ 2011年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,816	1,483	△ 747
税金等調整前当期純利益	960	939	841
減価償却費	327	396	471
仕入債務の増減額	2,034	448	△ 1,744
その他	△ 506	△ 301	△ 315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 826	△ 741	△ 539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 407	△ 498	△ 13
現金及び現金同等物の増減額	1,583	243	△ 1,299
現金及び現金同等物の期首残高	1,136	2,719	2,963
現金及び現金同等物の期末残高	2,719	2,963	1,663

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度末が金融機関の休日であったため、仕入債務の支払いが当期に繰り越され、仕入債務の増減額が17億44百万円の減少となったことにより7億47百万円の支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店しました志茂店及び等々力店の出店関連費用などの支払い、練馬大泉店の駐車場用地拡張に伴う土地の取得及び差入保証金の差入れにより5億39百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入の実行21億円と長期借入金の約定返済18億79百万円などにより13百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億99百万円減少し、16億63百万円となりました。

■ 連結株主資本等 変動計算書

連結株主資本等 変動計算書	当期(2010年3月1日～2011年2月28日)								
	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2010年2月28日残高	367	277	2,639	△ 0	3,284	△ 0	△ 0	14	3,298
当連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 46		△ 46				△ 46
当期純利益			488		488				488
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					-	0	0	-	0
当連結会計年度中の変動額合計	-	-	441	-	441	0	0	-	442
2011年2月28日残高	367	277	3,081	△ 0	3,726	△ 0	△ 0	14	3,740

株式関連情報 (2011年2月28日現在)

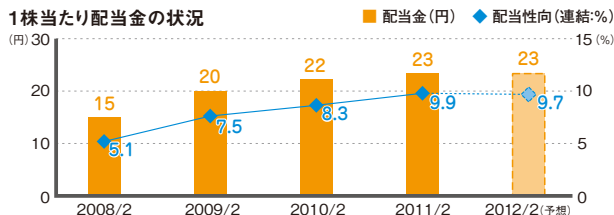
Stock Information

株主の皆様への配当金について

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、売上高は増収、経常利益も微増となりましたので、1.00円増配し、1株当たり23.00円といたしました。この結果、配当性向(連結)は9.9%となりました。

次期につきましても、1株当たり23.00円を基本としつつ、上記の基本方針と共に連結業績の成果等を考慮して行ってまいります。



2011年2月期における1株当たり指標 (連結)

1株当たり純資産 1,774.58円

1株当たり当期純利益 232.42円

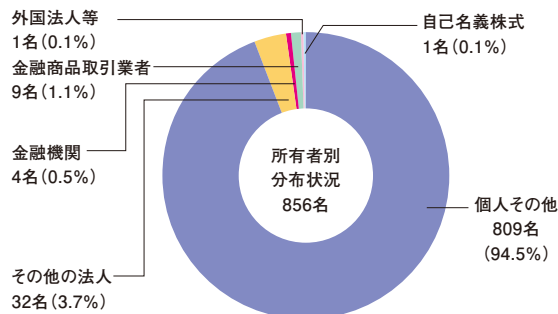
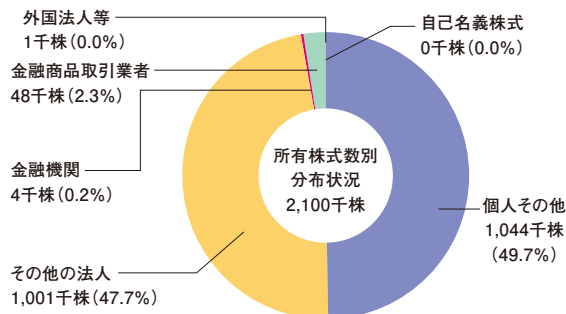
株式の状況

発行可能株式総数……………7,200,000株
発行済株式総数……………2,100,000株
株主数……………856名

大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社ライト経営	380,000	18.10
有限会社ドクターホールディングス	375,000	17.86
川畑 博士	315,000	15.00
スーパーバリュー従業員持株会	119,530	5.69
岸本 七朗	100,000	4.76
中島 幸子	100,000	4.76
岸本 圭司	100,000	4.76
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	78,900	3.76
株式会社ジャパンミート	69,200	3.30
株式会社大川ホールディングス	54,700	2.60

株式分布状況



会社情報 (2011年5月26日現在)

Corporate Data

■ 会社概要

商 号	株式会社スーパーバリュー
本 社	〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階 TEL:048(650)5622(代) FAX:048(650)5628
設 立	1996年3月18日
創 業	1996年7月21日
資 本 金	3億6,750万円
主たる事業	食品スーパーとホームセンターを併設した複合型小売店舗の経営
主な取扱商品	1.食品スーパー (SM) 青果、精肉、鮮魚、惣菜、加工食品、米、酒、日配品など 2.ホームセンター (HC) 日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、カー用品、 レジャー用品、ペット用品、家電製品、対面(時計・カメラ等)、 インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ、リ フォーム、灯油など
従 業 員 数	正社員:388名 契約・嘱託社員、パート及びアルバイト:1,104名(8時間換算) ※2011年2月28日現在
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 大宮駅前支店／三井住友銀行 大宮支店／埼玉りそな銀行 大宮支店／みずほ銀行 大宮駅前支店／商工中金 さいたま支店／群馬銀行 大宮支店／武蔵野銀行 大宮支店
連結子会社	有限会社バリューサポート 匿名組合(有限会社上尾企画)

■ 役員

代 表 取 締 役	執行役員社長	岸 本 七 朗
取 締 役	専務執行役員	田 幡 徹 夫
取 締 役	執行役員	小野田 秀 実
取 締 役	執行役員	岸 本 圭 司
取 締 役		飯 野 忠 司
常 勤 監 査 役		江 崎 可 秋
監 査 役		小 崎 光 明
監 査 役		小 森 繁 行
監 査 役		稲 垣 則 夫
執 行 役 員		横 山 克 美
執 行 役 員		中 谷 圭 一
執 行 役 員		大 森 主 男
執 行 役 員		菅 又 茂 雄

■ 店舗ネットワーク

※数字は出店順です。



● 埼玉県

- 1 スーパーバリュー草加店
草加市栄町1-7-18
TEL:048(932)5151
- 2 スーパーバリュー越谷店
越谷市下間久里197-1
TEL:048(974)7111
- 3 スーパーバリュー戸田店
戸田市南町9-29
TEL:048(434)4955
- 5 スーパーバリュー春日部武里店
春日部市大枝330-1
TEL:048(731)2515
- 8 スーパーバリュー上尾愛宕店
上尾市愛宕3-1-40
バリュープラザ上尾愛宕店1階
TEL:048(778)3500
- 9 スーパーバリュー川口前川店
川口市前川3-20-17
TEL:048(263)0010
- 10 スーパーバリュー入間春日町店
入間市春日町1-12-1
バリュープラザ入間春日町店内
TEL:04(2901)0070
- 11 スーパーバリュー東所沢店
所沢市下安松782
TEL:04(2951)2200
- 13 スーパーバリュー大宮天沼店
さいたま市大宮区天沼町1-406-1
TEL:048(650)1561
- 14 スーパーバリュー見沼南中野店
さいたま市見沼区南中野282-5
TEL:048(681)5858

● 東京都

- 4 スーパーバリュー練馬大泉店
練馬区大泉町5-6-51
TEL:03(5933)1520
- 7 スーパーバリュー杉並高井戸店
杉並区下高井戸5-12-12
TEL:03(5316)3033
- 12 スーパーバリュー荒川一丁目店
荒川区荒川1-6-1
TEL:03(6458)3344
- 15 スーパーバリュー志茂店
北区志茂1-6-11
TEL:03(5939)9677
- 16 スーパーバリュー等々力店
世田谷区等々力3-8-7
TEL:03(6809)8336

● 千葉県

- 6 スーパーバリュー南船橋店
船橋市浜町2-2-7 ビビットスクエア1階
TEL:047(495)2901

株主メモ

決 算 期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	毎年5月開催
株 主 配 当 金	毎年2月末日の株主名簿に記録された株主又は登録質権者にお支払いいたします。
中 間 配 当 金	実施する場合には、毎年8月31日の株主名簿に記録された株主又は登録質権者にお支払いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先	☎ 0120-176-417
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
単 元 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	日本経済新聞
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所 JASDAQ市場スタンダード ※2010年4月1日のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所との合併及び2010年10月12日の 市場統合に伴い、上場証券取引所は上記のとおりとなっております。
証 券 コ ー ド	3094

▶IRサイトのご案内

当社ホームページ内の“IR情報”に、当社の最新IR情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

ホームページURL <http://www.supervalue.jp/>

◆お問い合わせは、下記まで◆



株式会社スーパバリュー

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階
TEL:048-650-5622 E-mail:ir@supervalue.co.jp